

TOTO

アルカリイオン水生成器用給水栓

TN600-3型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。





1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



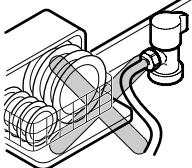
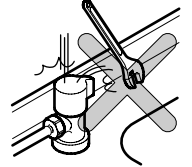
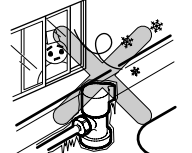
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。





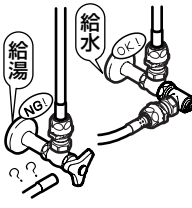
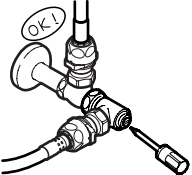
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 注意	
 禁止	<p>アルカリイオン水生成器以外は使用しない</p> <p>破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>強い力や衝撃を与えない</p> <p>破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>凍結が予想される場所に設置しない</p> <p>部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

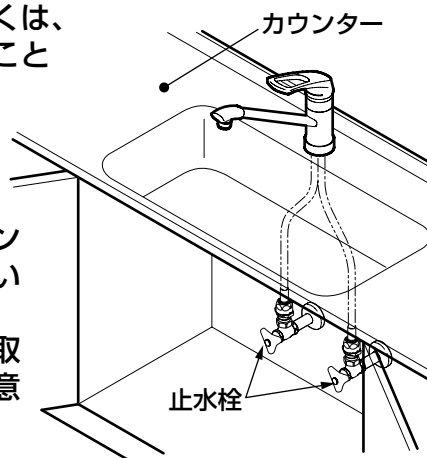
 注意	
 分解禁止	<p>この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない</p> <p>破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 必ず実行	<p>必ず給水接続で使用する</p> <p>給湯接続で使用すると、アルカリイオン水生成器の故障の原因になります。</p> 
	<p>止水栓またはバルブを開くときは、必ずアルカリイオン水生成器の給水ホースを接続したあと、行う</p> <p>給水ホースを接続する前に止水栓またはバルブを開くと、水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

2 仕様

給水圧力	最低必要水圧	アルカリ7 : 0.07MPa (流動時) アルカスリム : 0.1MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		35℃
使用可能水質		水道水
使用環境温度		1~40℃
用途		一般住宅台所用

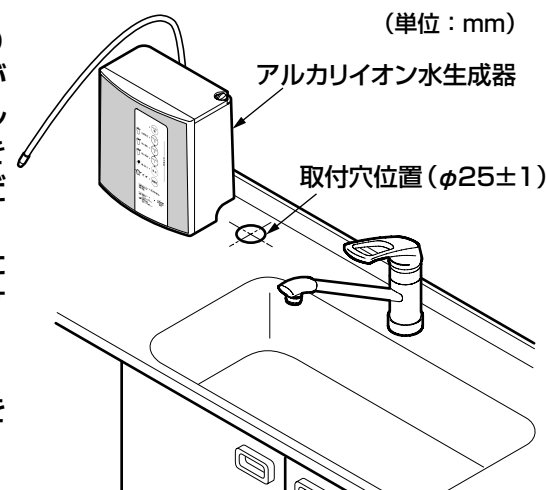
3-1 取り付け前に

- 本体分岐、専用分岐接続タイプのアルカリ7(TEK513-2型)、アルカスリム(TEK532-2型)とセットして使用しています。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- カウンターの材質がステンレスもしくは、人工大理石(御影石調除く)であることを確認してください。天然大理石、ホーロー製カウンターには穴あけ加工ができないことがあります。
- 取り付けには止水栓が必要です。シンク下の扉を開けて、止水栓が付いていることを確認してください。止水栓によっては同梱の分岐金具が取り付けられないことがありますのでご注意ください。

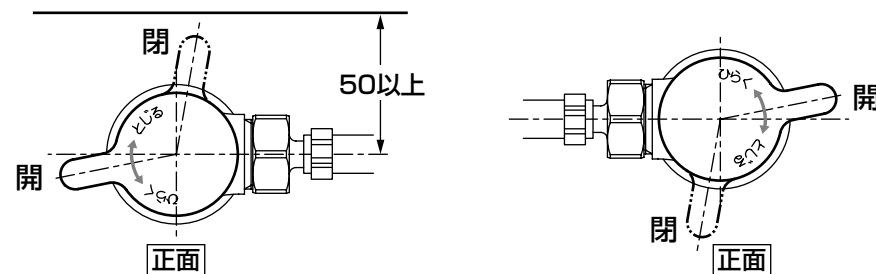


3-2

- カウンター下の空間との取り合いを見て、穴あけに支障がないことを確認したのちアルカリイオン水生成器を仮置きし、取付穴位置を決めてください。穴あけ後は切りくずが出るため、カウンター周辺を片付けてください。



- お客様に穴あけ加工の説明を事前に行ってください。
- サブ水栓穴(φ35±2)に取り付ける場合には、取付アダプターTHD60をご利用ください。
- 分岐金具の右側にアルカリイオン水生成器を設置する場合は、分岐金具のハンドルのレバー部分が後方になります。穴あけ加工の際は、レバー部の干渉にご注意ください。



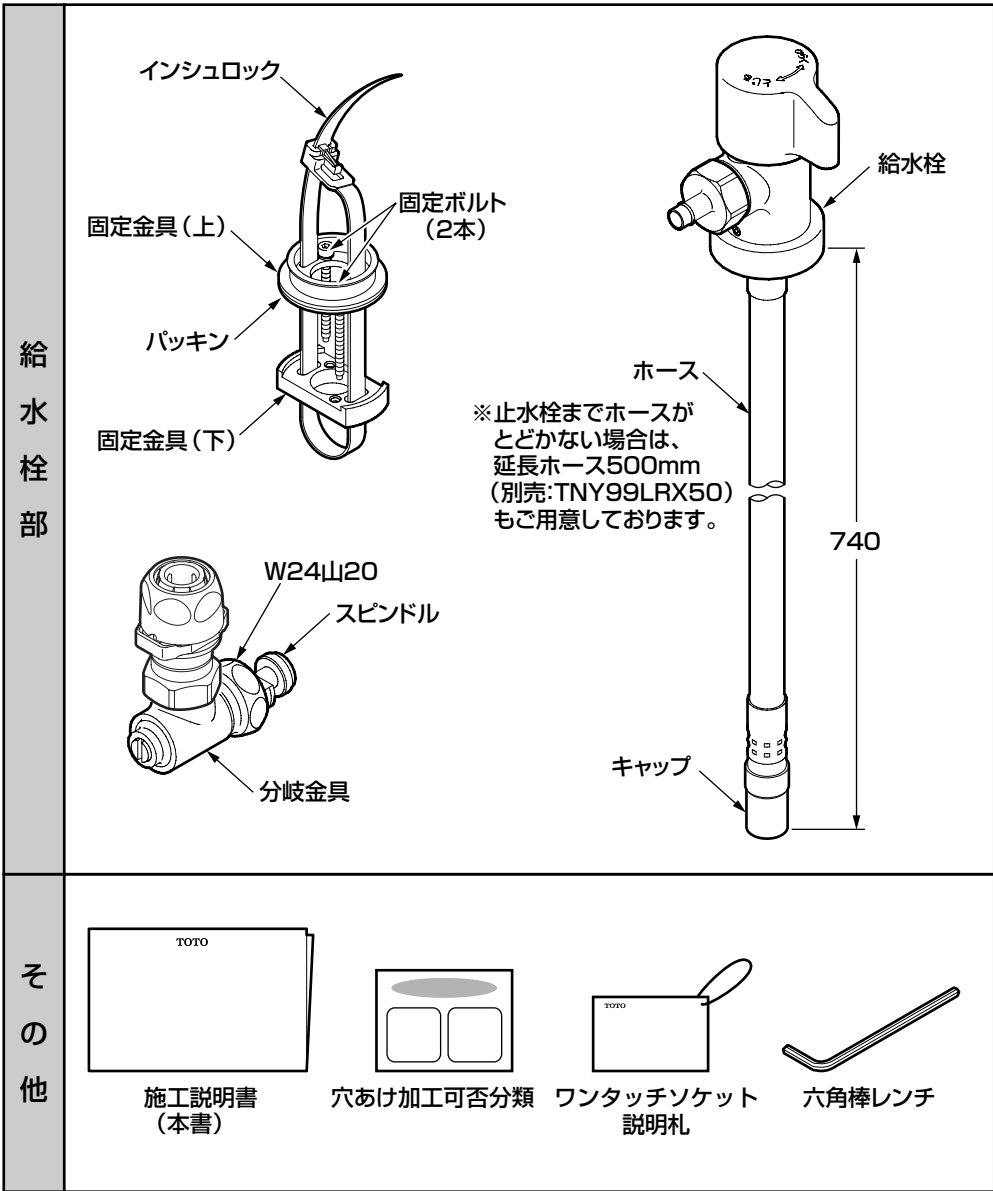
分岐金具の**右側**にアルカリイオン水生成器を設置する場合

分岐金具の**左側**にアルカリイオン水生成器を設置する場合

- 開閉ハンドルの向きは変更できません。
- 通水検査をしていますので水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

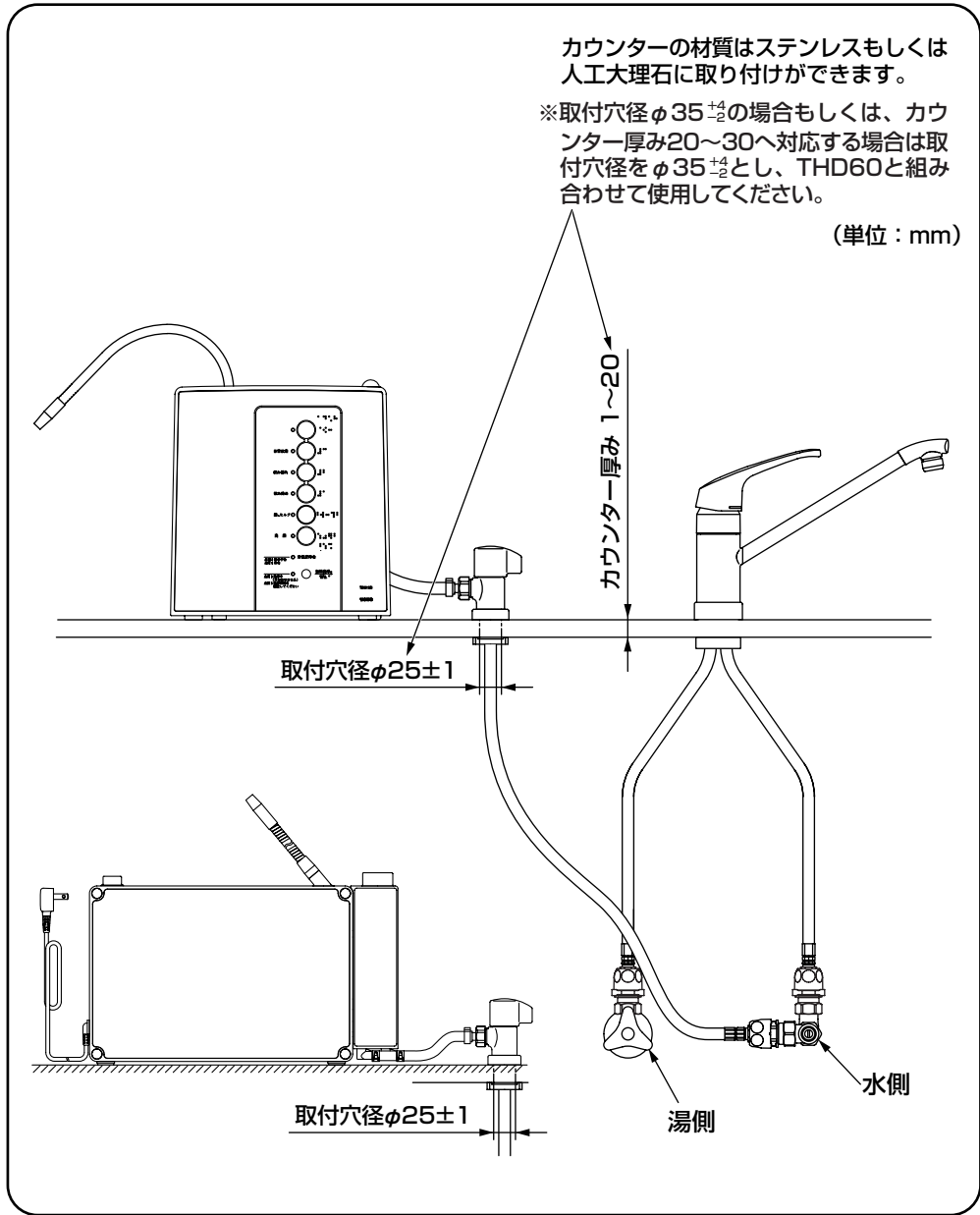
次の部品があることを確認してください。



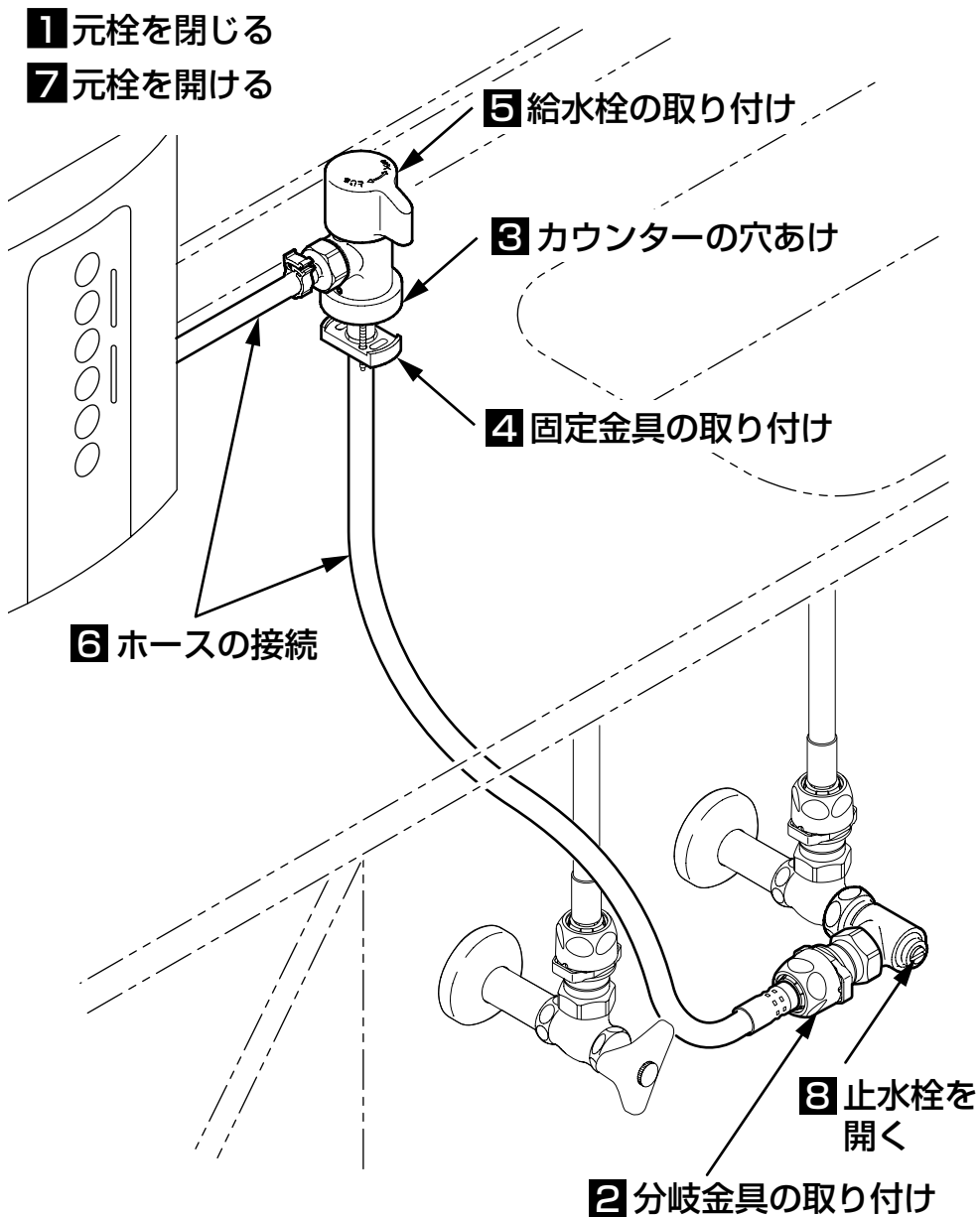
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順

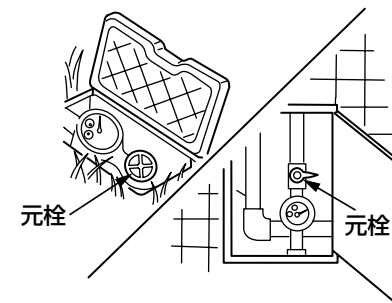


1 元栓を閉じる

水道メーターの元栓を閉じる。

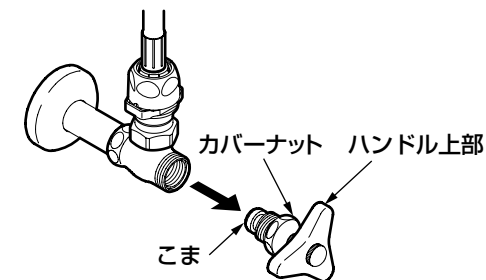
注意

水栓から水が出ないことを確認してから次の要領に従って、作業を行ってください。

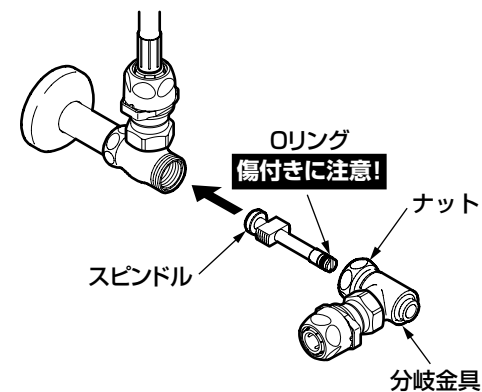


2 分岐金具の取り付け

①カバーナットをゆるめ、**水側** 止水栓のハンドル上部とこまを全部取り外す。



②スピンドルを止水栓本体に取り付ける。



③分岐金具を差し込み、ナット部を締め付ける。

裏面へつづく

3 カウンターの穴あけ

カウンター穴あけ加工上の注意点

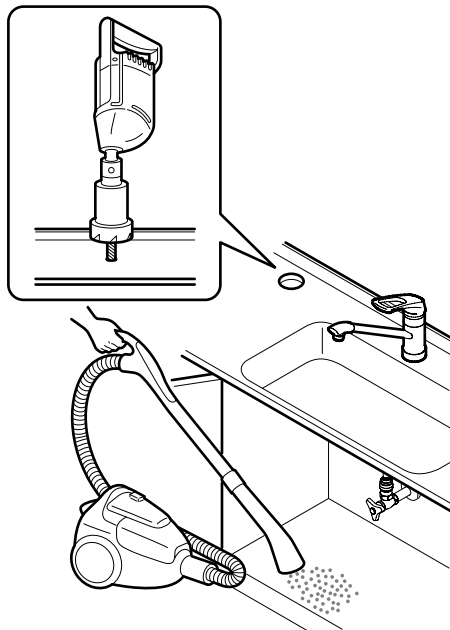
- 分岐金具取り付け前に、カウンターの穴あけを行わないでください。止水栓によっては分岐金具が取り付けられないことがあります。
- 穴あけ加工の穴径は $\phi 25 \pm 1$ です。
- インパクトドライバー・振動ドリルなど、叩きつけながら加工する工具は使用しないでください。
- 無理な力で押しつけて、穴あけを行わないでください。カウンターの変形・破損のおそれがあります。
- 電気ドリルまたはドライバードリル 電圧9.6V以上(最大トルク21.6Nm以上)の工具をお使いください。
- カウンターの材質と厚みに適応した加工工具をお使いください。
- 硬い人工大理石カウンターの場合は、刃が摩耗し加工しにくくなりますので、予備の工具をご用意ください。
- カウンター厚みを考慮し、深さ30mmに対応できる工具をご使用ください。

- ① 同梱の「穴あけ加工可否分類」を確認し、カウンターの穴あけを行う。

注意

穴あけはゆっくり、ON/OFFを繰り返しながら行ってください。一気に穴を開けますと、高温による煙が出たり、カウンターやホルソーの先端を傷める原因になります。

- ② 穴あけ後、掃除機で切りくずを吸い取る。

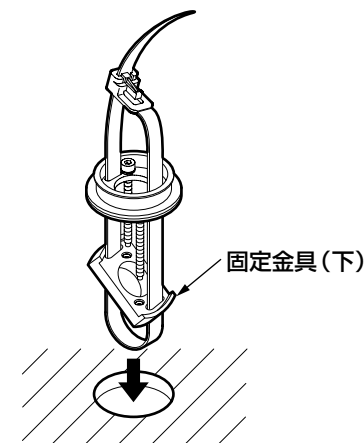


4-1 固定金具の取り付け

- ① 取付穴に固定金具(下)を差し込む。

注意

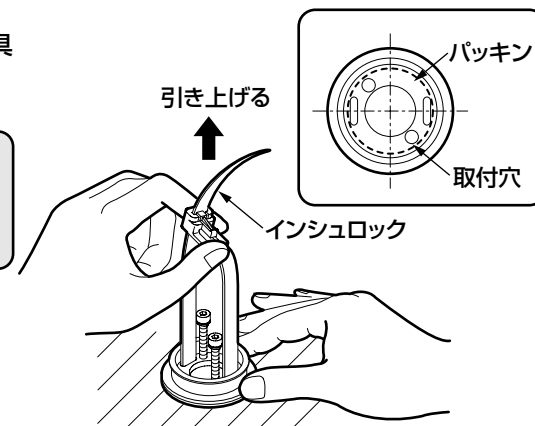
ステンレス製カウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板など)を取り付けてください。



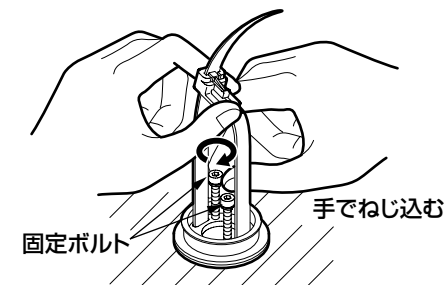
- ② インシュロックを引き上げ、固定金具の中心をあわせる。

注意

パッキンと取付穴の中心をあわせパッキンがシールするようにしてください。

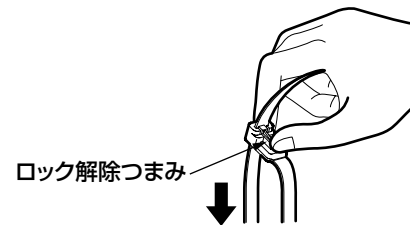


- ③ 固定ボルト2本を仮締めする。

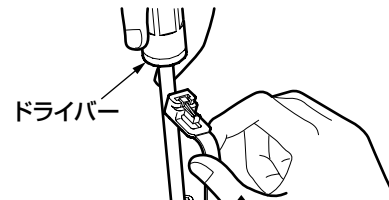


4-2 固定金具の取り付け

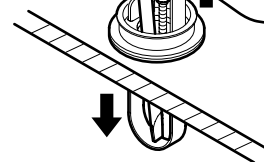
- ④インシュロックのロック解除つまみをつまんで、インシュロックを外す。



- ⑤ドライバーなどでインシュロックを押し込む。



- ⑥インシュロックを引き抜く。



- ⑦同梱の六角棒レンチを縦にして固定ボルトで締め付ける。



- ⑧六角棒レンチを横にしてさらに強く締め付ける。

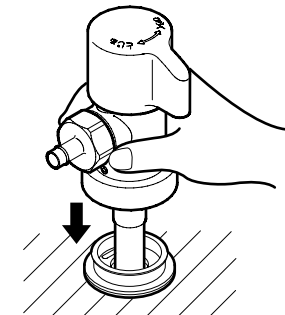


5 給水栓の取り付け

- ①給水栓をしっかりと差し込む。

注意

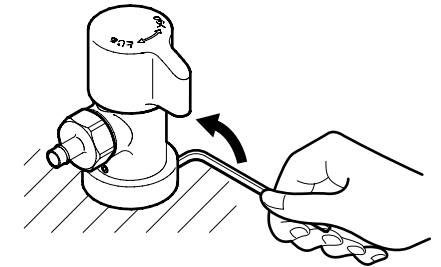
ホース先端のキャップは付けたままにしておいてください。



- ②止めねじをしっかりと締め、固定する。

注意

80mm以上のレンチを使用しないでください。
(ねじ部が破損するおそれがあります)



6 ホースの接続

- ① マイナスドライバーでスピンドルを時計回りに回して止水栓を閉める。
- ② 給水栓のホース先端のキャップを外す。

注意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。そのままでもホースを差し込みます。

- ③ ホースに **異物の付着がないことを確認し**、ワンタッチソケットに **真っすぐ奥まで**（「カチッ」と音がするまで）確実に差し込む。

確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。

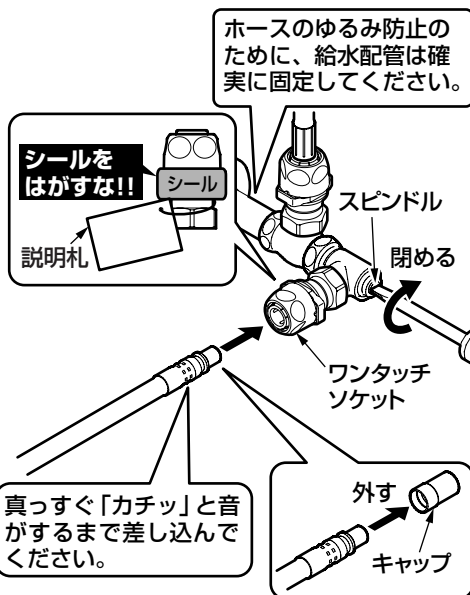
- ④ ホースを **真っすぐ引っ張って外れない（抜けない）** ことを必ず確認する。

施工後、万一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。

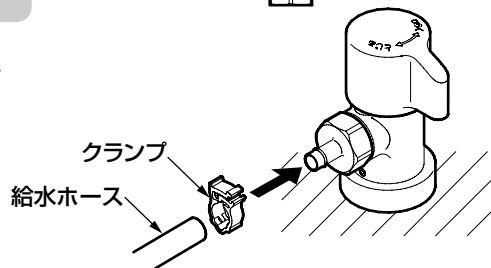
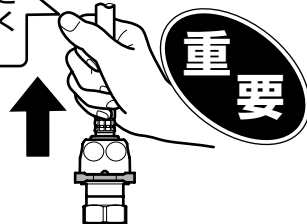
- ⑤ アルカリイオン水生成器の給水ホースをクランプで給水栓に接続する。

注意

給水ホースを接続後、引いて抜けないことを確認してください。



真っすぐ引っ張って外れないことを確認してください。



ホース施工上の注意点

- ホースを **必要以上の力で曲げて折らないように** 注意してください。ホースの **最小曲げ半径は60mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。
- ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

7 元栓を開ける

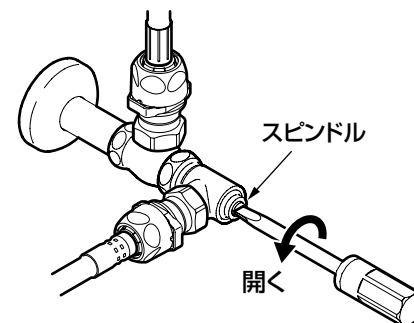
水道メーターの元栓を開ける。

注意

元栓またはバルブの開放は必ず、給水ホースを接続したあとに行ってください。

8 止水栓を開く

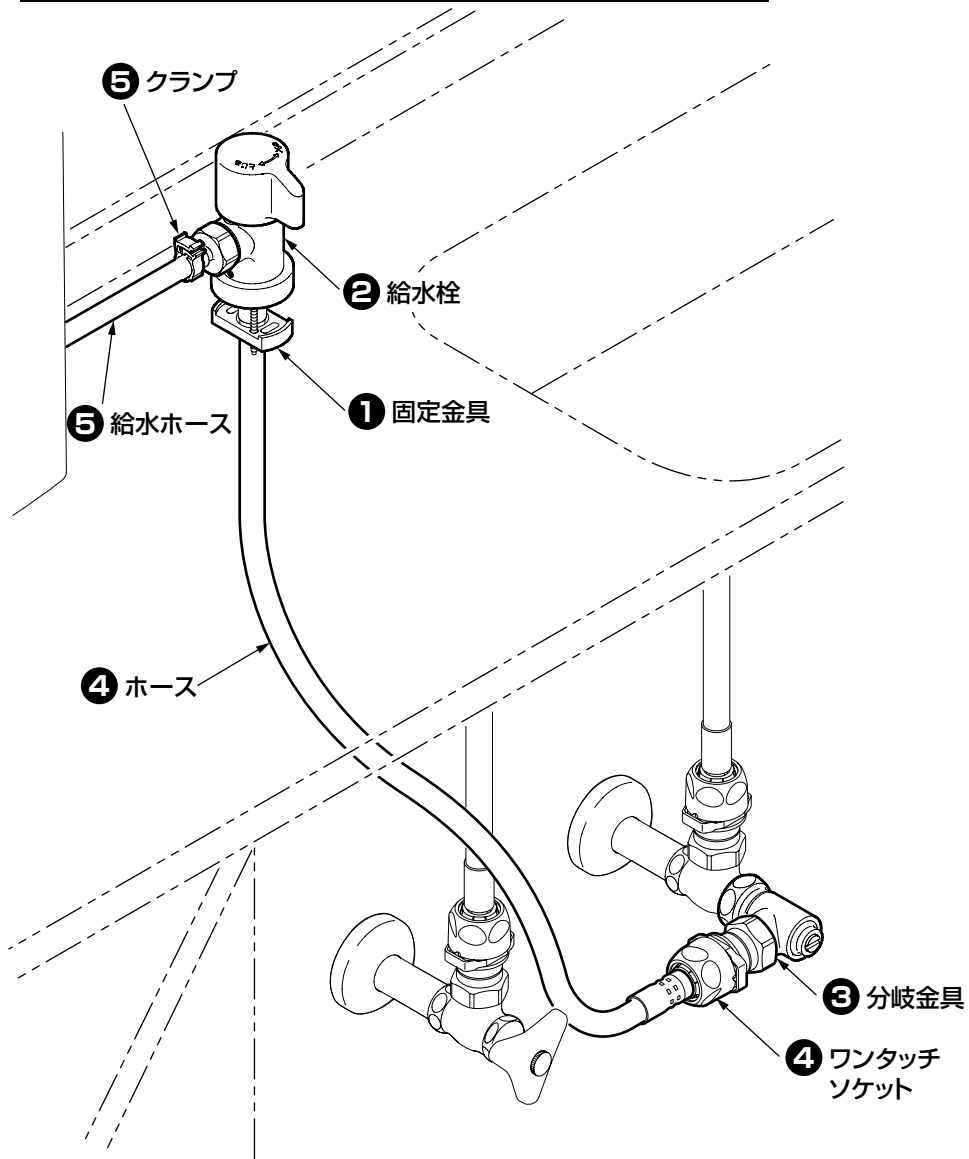
分岐金具のスピンドルを反時計回りに回して止水栓を開く。



7

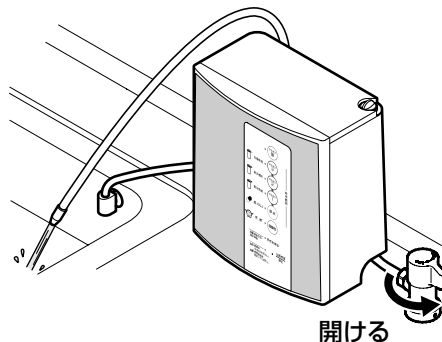
点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水出し確認

給水栓のハンドルを開け、アルカリイオン水生成器から水が出るか確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ① 固定金具はカウンターにしっかり固定されていますか？
↳ 6-2 6-3 - 4 「固定金具の取り付け」参照
- ② 給水栓は止めねじでしっかり締め付けていますか？
↳ 6-3 - 5 「給水栓の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ③ 分岐金具のナット部はしっかり締め付けていますか？
↳ 6-1 - 2 「分岐金具の取り付け」参照
- ④ 給水栓のホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？
↳ 6-4 - 6 「ホースの接続」参照
- ⑤ アルカリイオン水生成器の給水ホースは給水栓にしっかり接続されていますか？
↳ 6-4 - 6 「ホースの接続」参照

止水栓の確認

分岐金具が水側に接続されているか確認してください。

- ③ 分岐金具は水側に接続されていますか？
↳ 6-1 - 2 「分岐金具の取り付け」参照